

(様式3)

自己評価結果票 (3Fユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも一期一会を理念として地域の中でその人らしく暮らして行くようにしている ・ゆっくり、ゆったり、共同生活。さりげないお膳立てと助け舟。いつも一期一会を大切に ・よく見えるところに掲示してある。地域にも利用者にも関わるような理念である 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に地域密着型を強調した文を加えてはどうか
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者と職員は理念を共有している ・見えるところにかけてあり、頭の片隅においている ・よく見えるところにあるため意識付けができている 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者も入居者の日常生活介護を時々してはどうか(木嶋)
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の方が来ても分るよう、フロアに理念を貼っている ・入所時に文書、口頭にて説明を行っている ・年に数回の地域交流に家族も参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学に来られた方がわかりやすいよう玄関に理念を貼ってはどうか(木嶋)
6			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・隣の方とは、職員が挨拶をしているが、入居者はあまりしていない ・隣近所の人とあいさつはしているが、気軽に立ち寄ることはない ・一度話しをした人にはなるべく声をかけるにはしているが、自分が知らない人には利用者と一緒にないときは声をかけてない 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの時は苑を快方して、付き合いがあると思う ・日を決めて気軽に立ち寄れるようにする
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の行事によく参加している ・自治会、老人会に加入し、地域活動などに参加している ・なるべく利用者が参加できるものについては参加している。自治会にも入っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の行事によく参加している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの職員が老人会を訪れ、レクリエーションや体操されている ・地域の自治会などに参加させてもらっているが、地域の高齢者の暮らしに役立つことがないかの話し合いはしたことがない ・老人会の人とはお話することがあるが、なかなか役立つことを具体的な内容については話し合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームに近隣のお年寄りを招待し、グループホームの入居者と交流するのもよいかも ・自分の経験や事例なども含め、地域高齢者とも接していければ
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善できる点は直していると思う ・サービスの質の向上に努めている ・評価を実施したことはあるが、やるだけで満足し、改善等は全くしていないように思う。評価は自己知るためにはよいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善できる点は直していると思う ・もっと皆がどう思っているかを知る必要があると思う。前の評価の回答を知らない
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2階月に1回会議を行えている。出席しない方にもアンケートで意見を聞いている ・報告を行ない、家族からの意見、質問に子と得たり、不安等に思われていることなどを聞き、一緒に考え、解決していく ・会議をすることにより家族との交流が少しずつ増えているように思う。サービス向上にも少しずつできているのではないかと 	<ul style="list-style-type: none"> ・某会長の話が長いために入居者の家族も疲れることがある ・もっと多くの職員が参加できればもっと良いものになるのではないかと。職員の参加も多ければ、家族の参加も増えるかもしれない
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括センターの職員も出席している ・管理者が出向き、報告連絡等を受けている ・行き来する機会がないわけではないが、あまり交流がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町担当者も会議に入り、サービス向上したらよいと思う ・市町担当者がもう少し理解していただければ嬉しい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症研修などで勉強する機会があった ・権利擁護事業や成年後見人制度の名前は知っていても詳しく理解できていない ・実際に使用している人がいる 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームでも勉強会を行ないたい ・権利擁護事業や成年後見人制度について学びたい ・現在使用している人からの勉強会や家族にもそういったことがあるということを知ってもらいたい
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者や職員にの全員が周知徹底できるよう全員で研修をしてほしい。定期的に職員の面談を行い、虐待がないかを管理者が行うべき ・会議等で話し合い、防止に努めている ・何が虐待で何が違うのか、わからなくなってきたこともあるが、自分がされて嫌なことはしないようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待が行われないため、管理者は定期的に聞き取りを調査すべき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に契約証を読み説明している ・重要事項説明書を読み、理解、納得をして得ている ・めんどくでも全部を読み一つひとつ回答してる 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に通院の件、発熱した時の対応を家族がしてくれるかを確認すべきである
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・目安箱を置いている ・1階事務所前に苦情等を入れる箱を設けている。他部署との会議で話し合っている ・入居者の以遠があまり出ないのでわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の要望があれば記録に残し、なるべく応えられるようにしたい ・もっと時間を設けたい
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月月例報告書を送っている。入居者に特辺があったり、物品の購入の許可があれば報告している ・月初めに先月のバイタル、暮らしぶり等報告書を送付している ・毎月、報告書を渡している 	
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時、不満や苦情を市に報告できると説明している <ul style="list-style-type: none"> ・1階事務所前に苦情等を入れる箱を設けている。他部署と会議を行い話し合っている ・今まではアンケートを回収し、意見をもらい、運営会議などや書面にて話をしている。ご意見箱も設置している 	
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議で家族が提案した事項はほとんど実行してる ・月3回の会議などで意見があれば発表していく ・よく聞いてくれる。思うようにやり、助言をくれる 	
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・パートさんの少ない土日が手薄になることがある。もう少し人を増やすべきである。少ないなりの努力はしている ・突発的な時など、その都度調整している ・やっているつもりであるが、家族にとってはわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・各方面に人材を確保するために働きかけるべきである

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・異動は最小限にしていると思う。離職はすぐにされる方が、あまりダメージはないと思う ・各ユニット化で職員を固定し、より深くケアをできるようにする ・徹底はできていないが、他の職員といつもの職員の違い分かる様子 		<ul style="list-style-type: none"> ・離職者が少なくなるよう職場の雰囲気作り、働きやすいよう職場の環境の改善を行いたいと思う
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・春日の家は研修をよくやっていると思う。新人職員に関しても働きかけトレーニングしていると思う ・業務に必要な研修は、随時行き、スキルアップをはかっている ・あまり研修には行けない。費用のこともあるが、リーダーのための研修などには行きたい 		<ul style="list-style-type: none"> ・公休でもいいので、研修に行かせてほしい。費用や日程を書いた用紙を見せてほしい
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、職員は地域の研修などに参加するので地域の同業者と交流する機会がある ・詳しくは不明 ・していないと思う 		<ul style="list-style-type: none"> ・春日苑でも研修を聞いて同業者を招いてはどうか ・同業者との交流で情報交換できればと思う ・もっと全員いで取り組みたい
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームなので休憩がしにくい。業務中にパソコンや記録がしにくいので、業務が終わってからになる ・ストレスを軽減するひとつとして、職員が短時間心身を休める居心地のよい場所がない ・休みは十分にもらっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりでの面談など取り組みが必要 ・事務作業を専門とする職員をつくり介護業務に専念できたらなあと思う(木嶋) ・のれん等つけて休憩室にする
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・運営者は意見をよく聞いてくれるので良いと思う。研修もよく受けさせてくれている ・研修、書籍などで色々情報を集め、向上できるようにしている ・管理者はよくやってくれている 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前に面接を行い、受けと止める努力はしていると思う ・既に入所されていた方が多く、利用にいたるまでに本人が困っていること等不明も、本人からの話はしっかり傾聴しようと努めている ・聞く時間はたくさんとるようにしてる 	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前に面接を行っており、受け止める努力はしてると思う ・家族の話は細かい事も聞き漏らさず、しっかり受けとめようとしている ・なるべく聞くようにはしている 	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他のサービス理ようを含めた対応は歯科や眼科、通院の往診などがある ・グループホームに入りたくても空きがない場合、どうしていいかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の社会資源の利用の検討と、ケアマネとの利用者の入所等の適性かどうかの話し合い(川尻) ・ショートステイなど複合施設ならではの連携を取りたい
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者がなれるように家族と相談して行っている ・”さりげない”お膳立てでゆっくりなじんでいただく ・できる限りやっているつもり 	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の得意な事はなるべくして頂頼るようにしてる ・本人の思い、不安などを知り、ともに支えあえる関係づくりを行っていく ・やっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が徹底できるようにしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時家族と相談し、伺いを立て、一緒に利用者を支えている ・ 家族交流会などを開き、利用者、家族、職員と一緒に時間を共有し、関係を築いている ・ 個々にはできていると思うが、そのやり方にかたよりはあるように思う 	
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ なるべく利用者と家族がよい関係になるよう努めている ・ 家族交流会などで、利用者、家族で十分話をしたり、楽しまれるように援助している ・ なるべく話す機会は多く持ち、話が聞けるようにはしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり利用者に合いたくない家族さんはどうするか課題である
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホームに利用者の知人が訪れてくる事がある。訪れやすいよう笑顔で対応している ・ 特に行っていない ・ なるべくはできるよにはしているが、家族の協力なしではできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員が徹底するようにしてほしい
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ なるべく利用者同士の関係の支援を行っているが、どうしても孤立してしまう方がいる ・ 一対一（利用者職員）で話をしたり、時にはみんなで楽しく過ごす時間などを持てるようにしている ・ なるべくできるよう努力はしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら利用者同士の関係を支援できるか勉強したい
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的には大切にしようと思っている ・ 特に行っていない ・ 関わりを必要としたときはやっているが、無理にはしていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス利用が終了しても時々運営者が「最近どうですか？」と尋ねて、場合によっては相談に乗ってはどうか

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく行っている ・何気ない一言でも関心を持ち、職員間で話し合う ・本人ならどうしたいかを念頭にやっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士や家族ではなしあい、実現できるようにしている ・家族に聞いたり、本人に確かめる
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前に面談を行い、聞き取り調査、記録している ・入所前に情報収集を行っている ・なるべくその環境を壊さず、できることをやってもらおうと努力はしている 	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌に細やかに記録している ・一日の過ごし方は同じでも毎朝バイタル等ばかり、把握していく ・職員同士での話し合いや本人からの調査などで把握するようにしている 	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と相談したり会議にでない職員に話を聞いて行っている ・カンファレンスを行い、その人らしく生活sちえいくには、とチーム内で意見を出し合い、ケアプランを作成する ・担当入居者に関してはやっているが、その他はわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとオープンにしてほしい
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている ・見直し以前にタオ言うできなくても特に変更せず、見直しの会議に変更し、新たな計画を立てる ・口頭ではやっているが、文書にはあまり残らない 	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している ・日々の様子などを記録し、情報の共有をしている ・日常生活介護記録は役にたっていると思う 		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・他部署の施設を借りて、交流会を開いたりしている ・できる限りやるようにしている 		
2				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と交流もあるし、消防関係では、避難訓練もするので支援できていると思う ・特養の編物教室などに参加している ・あまり使っていない 		・もっとボランティア交流などやりたい
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が他のサービスを利用するなら、家族に探すようにとおっしゃっていた ・老人会など催し事に参加させてもらっている ・希望があればやっている 		・必要性に応じ、家族に他のサービス業者を複数紹介し、選べるよう資料を用意してはどうか
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議などで地域包括センターの職員が出席している ・運営推進会議に地域包括のケアマネが参加され、情報交換を行う ・全くやっていない 		・やることだと初めてした

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通院は家族に行ってもらっているのでできていると思う ・事業所の協力医のほか、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう家族と強力したり、訪問診療に来てもらうケースもあり ・やっている。かかりつけがいなければ作ってもらい、協力している 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が忙しくていけない場合、他の事所のサービスを利用してもらえるようにはからってはどうか
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の専門医の受診支援、できていないと思う ・特に行っていない ・直接にはいないが、かかりつけ医には相談している 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に取り組んでいる病院を調べ、相談や治療を受けられると良いと思う
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・往診を利用している入居者に関してはできていると思う ・事業所の強力医の看護師、特養の看護師などに異常なときは相談している ・一部の入居者にしか適していない。特養の看護師が非協力的 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどはできていると思う ・グループホームには看護師がいないので、かかりつけ医の看護師等に普段から相談している
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当介護士が行っていると思うが、入ったばかりの職員はわからないと思う ・家族と連絡をとり、回復状況、退院後の生活支援を行う ・医療機関と話し合い、なるべく早期に入居者のことを考えてやっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がするのははっきりしていた方がよいと思う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>・面接時に聞いておくとよい</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・春日の家は看護師が常勤していないので、点滴などの処理が難しく、重度化や終末期に対応できるかわからない</p> <p>・急変時に供え、かかりつけ医の確認、家族に連絡を取る</p> <p>・そういう状態の時は会議等で行いやっている</p>	<p>・グループホームにも看護師を入れてはどうか</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前や入所後に家族と相談し努めている ・今までの生活をあまり変えないように情報収集を行う ・なるべく少なくすむよう情報を共有している 		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけや対応は職員によって違うので、よい職員を見本にしたい ・会議などで、言葉使い等の注意あり ・個人情報について、皆が過剰になりすぎて、知るべきところがわからないこともある 		<ul style="list-style-type: none"> ・よくなるよう徹底したい ・1人ひとりが気をつけて行う 個・人情報とはなにかをもっとみんなが知るべき
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくは行っている ・利用者に合わせて、声かけ、その人が自分で決める場面をつくる ・できる限りはできるように心がけている。時間がかかってもやってもらう 		<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくは行っている
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくしていただこうと思うがすぐには希望に添えないときがある ・入浴の時間、就寝時間など希望にそっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員を確保して、入居者の希望に添えるようにしたい
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくはしている ・今頃行ってこられた整容等はその人らしく支援していく ・できる限りやっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・なるべくはしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の力に応じてしている ・入居者の前で料理を作ったり、一緒に下ごしらえをしたり片づけを一緒に行う ・できる限りやっているが、それが入居者に対してどう感じているか知りたい 		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に行っている ・利用者が好まれるものを支援していく。本人以外の入居者に迷惑がかからないよう配慮を行う ・1人ひとりではない。まだ集団、あるいは、多数で一つの選択方法 		<ul style="list-style-type: none"> ・春日の家では禁煙である。タバコ好きの方はどうするかが課題 ・1人ひとりにできるようにしたい
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の失敗で職員が怒らないよう教育をしてほしい。またはしたい ・排泄チェック表に記入しつつ、定時のトイレ誘導を行っている ・なるべくやっているが、それが入居者のためによいのかはわからない 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の適正を考えて配置してほしい
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく入居者の希望にそって行おうとしている ・毎日入浴希望の人、1日おきの人など、その人が希望されるように入浴を促している。時間もその人の希望に合わせている ・ここの人たちは言わないがなるべくゆっくり入浴できるよう時間を使っている 		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・しんどそうな方は昼寝していただいたり休息できるように支援している ・生活リズムをくずさないように支援している ・照明一つにしても気をつけるようにしている 		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・何もせず座っているだけの入居者の方がいる ・その人、その人にあつた仕事をしていただき、支援していく ・いくつか考えているが、1人では6人を同じようにできない 		<ul style="list-style-type: none"> ・何かしてあげたい ・もっと個々を活かせるようチームで話し合っていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に心じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・お金はトラブルになりやすいので、事務所が管理している ・家族からお金を預かり、事務所で管理する ・金銭はほとんどの人が預かりになっている。本人が持っている人は自由に使っている 		<ul style="list-style-type: none"> ・お金を使えるよう、支援したい ・自分で買い物をしていただきたい(金銭の受け取りも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日外出して、運動してもらったほうがお年寄りの心身によいと思うが出来ない時がある ・散歩、買い物等、折りある事に出かける支援をしている ・同じ人ばかりが出かけている気がするが何とかできている 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置の状況でできるときとできないときがあるので、できるようにしたい ・もう少したくさん外出できるよう業務を整理したい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に心じて、1人で行ってみたいところに行っていると思う ・1人ひとりの思いなどが叶えられるよう行けそうなところには援助していく ・家族との外出で遠出はなかなかできていないが、皆が楽しめるようにはしている 		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆電話も用意しているし、年賀状のやりとりもしている ・利用者自身で小銭を管理され、自ら電話をかけたりしている ・年賀状や手紙を時々書いてもらったりしている 		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問者、知人には笑顔で接するようにしている ・気軽に過ごしてもらえよう、ソファや居室で過ごしていただくように心掛けている ・もう少し努力が必要 		<ul style="list-style-type: none"> ・もっと仕切られた環境の配置
(4)安心と安全を支える支援				

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドからの転落を防ぐため、ベッド柵を真ん 中にしている。家族には許可をいただいている ・会議で話し合い、拘束をされないよう取り組 む ・正しく理解しているかわからない 		<ul style="list-style-type: none"> ・安全性のためなら窓の鍵をしっかり閉めて見守 りをしっかりしておいてはどうか ・会議等で深めて行きたい


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵をかけずにやっていきたい
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自立度の高い方は持っていると思う ・一つひとつ職員全員で確かめていく必要がある
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的には必要
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・水害について考えたい ・家族との話し合い

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の鍵をかけるかや、1人で外出してよいかなどのリスクについては話していると思う ・1人ひとりに起こり得るリスクについての説明はしていない。問題等が起こりそうなきなどは説明、相談などを行う ・なるべくリスクを減らすが家族にはいつも話している 		<ul style="list-style-type: none"> ・リスクを考え、玄関の鍵や居室の窓などは開けられるようにしていることが多い。見守りがしっかりできる状況だとよいのでは
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バイタルチェックを行っている。朝のミーティング時に入居者の体調など話している ・普段の状況と違う時は、記録をつけ、家族に連絡し、受診をしてもらうこともある ・できています 		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活介護記録の前に、薬説明書などを貼り、理解できるようにしていない ・処方箋を医療ファイルにはさみ、いつでも見れるようにしている。服薬もきちんと服用されたか見届ける ・日誌にはさんだりやっている 		
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘の人運動してもらおう。試みが乏しいような感じがする ・便秘薬を服用するときは、家族、医療金と相談しながら服薬している ・できる限り便秘がその人の体質なのかわからないこともある 		<ul style="list-style-type: none"> ・日中居室で寝てばかりにならないようリビングまで歩く機会をつくりたいと思う ・排便自立の人の排便確認は行っていないため、必要だと思う。(全員ではなく気になる人のみ)
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後の口腔ケアといかないときがある ・就寝前の義歯洗浄は行っているが、毎食後の口腔ケアを全入居者にはできていない ・医師と相談しながらやっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後してもらえよう徹底したい ・毎食後の口腔ケア

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・水分量を記録し、栄養士の考えたメニューを食 べている ・喫食表の記入、水分摂取量の記入をし、把握し ている ・医師にも一日の必須量を聞いたり、アドバイ スをもらい、本人に負担がかからないよう努力して いる 		<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いの激しい入居者にどう対応するかを検 討する必要がある

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に対するマニュアルがある ・職員、入居者ともにインフルエンザの接種を行っている ・ある。実施している。発生前には声かけ注意、呼びかけを行っている 		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症などの研修があれば参加したい ・勉強会などあればよいと思う
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・まな板や包丁の塩素消毒している。消費機嫌のチェックを毎日行っている ・ふきんは毎日消毒し、食材は前日、あるいは当日届くようにしている ・やっているがもっとやりたい 		<ul style="list-style-type: none"> ・何でも綺麗に使ってほしい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関のスロープの酒の斜面が高く、車椅子の人は入りにくいのではないかと ・玄関にお花を置いて、入りやすいようにしている ・なんとなく暗く汚い 		<ul style="list-style-type: none"> ・もうできてしまっているので、改善は難しいと思う ・玄関周りをもっと少し整理整頓できればと思う
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感が少し乏しいかもしれない ・ゆず湯、菖蒲湯などで季節感を味わっていたいく ・季節感があまりない 		<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を出せるよう飾り付けをしたい ・もっと色々なことをやりたい
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・顔をつきあわせてばかりいたら、相性の悪い入居者もいるので、別の空間にいてもらうようにしている ・リビングの中にソファを置いてあるため、一人での空間を楽しんでいただける ・想い、想いには過ごさせていると思う 		<ul style="list-style-type: none"> ・和室を利用される方が少ないので、希望される方には促したい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と相談しながら居室の様態替えをしている ・入所前から愛用されていたものを持ち込まれている ・泊まれる部屋がない 		<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドを使いたくない入居者の方がいた場合、どうするか考えたい ・もっと狭いなり上手く使って行きたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が居室に入らない時はなるべく窓を開けている ・1日1回、温度、湿度の管理は行っている ・入居者にも協力を得るようにして、全員で行っている 		<ul style="list-style-type: none"> ・湿度が下がりがちなので、洗濯物を干したりして工夫したい
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊の激しい入居者のいる階では、別の入居者を入浴などの介助をしているとき、職員が1人のため、見守りと入浴介助をしているときがある ・入居者が移動しやすいようにてすりをつけ、行動しやすくしている ・自由に歩ける。ただ物が多いのが気になる 		<ul style="list-style-type: none"> ・日中、各階フロアが2人体制になるようにして、見守り強化をしてほしい。ある程度、入居者を安全に自由にしたいがフロアに1人体制な時は難しい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し居室の名札などを大きくしたほうが入居者にわかりやすいと思う(木嶋) ・部屋の表札やトイレの表示をするなど1人ひとりに応じた工夫をしている(吉川) ・わかる力を見抜けていない(廣瀬) 		<ul style="list-style-type: none"> ・名札などを大きく表示したい ・もっとみんなで話あい、どんどん取り入れたい
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり建物の外周を利用していない(木嶋) ・建物周辺にお花を植え、水遣りをしてもらったり、目で楽しんでもらう(吉川) ・ベランダは自由に洗濯物を干し、屋上は自由にいけるよう心掛けている(廣瀬) 		<ul style="list-style-type: none"> ・外周を利用して、洗濯物を干したり、お花を育てたりしたい ・利用者にはなかなか活用できるところがない

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

.サービスの成果に関する項目 (3Fユニット)			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 2 0 0	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	0 1 3 0	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 1 1 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	0 3 0 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	0 2 1 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	2 0 3 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	2 1 0 0	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	2 0 3 0	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	0 0 1 2	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		0	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	0	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		1	あまり増えていない
		0	全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	0	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		1	職員の1/3くらいが
		0	ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		1	利用者の1/3くらいが
		0	ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1	ほぼ全ての家族等が
		1	家族等の2/3くらいが
		1	家族等の1/3くらいが
		0	ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 日常介護生活記録には細かく記入し、ひと目で1日何があったかがわかる
- ・ 散歩へにはなるべく毎日誰かが行けるようにしている
- ・ 遠出へは月に1階ぐらいはできるよう心がけている
- ・ 外出などに力を入れている